

一宮桃の花ウォークに参加して

K・I

ウォーク日和に恵まれて、富士宮駅南を朝7時バス3台で出発。朝霧高原道の駅に立ち寄り。精進バイパス経由で笛吹市八代町ふる里公園1キロ手前でバスを降りて公園まで行き、ストレッチ体操を済ませウォーク開始。桃の花は見渡す限り満開です。大感激。農家の人が摘花作業をしていました。道路にはのぼり旗と花の散策コースの看板があり、見物の人が散策をしていました。私も汗をかきながら、昼食のみさか桃源郷公園に11時20分頃つきました。正面の高台に平成の塔、芽吹く大地として3本のステンレスで塔を作り、水と人を形どり地上より空に向かって力強く経つとの意味が書いてありました。また、園内の池には多数の鯉が泳いでいました。昼食後は、多少のアップダウンがありましたが、金川を渡り両側に桃の花を見ながら土手道を歩き、山裾をまわり、眼下に広がる絶景を見ながら次の50年の歴史を持つ曹洞宗広徳院で、トイレ及び休憩をとり、山宮神社の前を通ってゴールの釈迦堂に到着しました。エアーサロンパスの世話になりながら無事に完歩することが出来ました。釈迦堂発15時45分、富士宮へ。役員の皆様、交通整理等ご苦労様でした。

森林浴ウォーキングに出かけませんか？

枝や葉が風にそよぐ音、鳥のさえずりや虫の鳴き声、自然が奏でるハーモニーは、現代人が抱える様々なストレスから開放してくれます。ウォーキングは身体に十分酸素を取り入れてエネルギーを燃やし、身体の機能を活性化させるのに最も適した有酸素運動です。森の精気を胸いっぱい吸い込んで、楽しく歩けばフレッシュされる事間違いなしです。

あの人・このひと



村島 哲夫さん

歩こう会の3代目会長の村島さん、最近写真集「華麗なる女(ひと)たち」を手作り写真集として出版したそうです。写真愛好家の一人である村島さんも、子供の頃は水彩画や版画などに興味があり、中学生の頃には美術学校に進みたいと考えたようですが、「絵では食べていけない」と家族の大反対にあいやむなく沼津の工業高校を出た、そんな経歴の持ち主です。

高校卒業後は仕事の都合で下宿生活になり、興味は絵から版画へ、そして版画から写真へと変わって行きました。被写体は日常的なスナップを中心に、気の向くままの出会いを大切に、生活感あるものにシャッターを向け、今は富士山麓の野草や風物の記録を主に撮っているそうです。この春まで現役で活躍され、今は週の半分は自分の時間が持てる様になり、これからはライフワークとして今までに受賞した作品や撮り溜めた数々の写真を整理し、手作り写真集の第2弾第3弾を考えているようです。手先を使うことが好きな村島さんは、写真ばかりでなく会事務所の棚などの造作などにもその力を発揮してくれています。日曜大工の達人でもある村島会長さんです。

甲斐一宮桃の花ウォーク
佐野 和彦
雪嶺をはるかに望む桃日和
幾度か道に迷ふも桃の道
御坂路のそぞろ歩きや葛坊主



くつひもをといて



その27

「どうも どうも」

たった三つのひらがな「どうも」。こんなに重宝がられる言葉はないでしょう。訳が分からない時は、「どうも どうも」と言っていれば通じてしまう。意味があるような無いような三つのひらがな、私を助けてくれます。

先日はご苦労様でした。「どうも どうも」はて、誰だっけ？しばらく考えても出て来ない。一週間位経ってから、あ〜、あの人か。ボケの始まりです。往来で喋っては余計な言葉は要らない。「どうも どうも」で済んでしまう。悔やみに行って、言葉が出ない時にはこの度は「どうも どうも」と言っていればそれで終わってしまう。便利な言葉です。話しべたな私(?)には三つのひらがなが有って良かった。強い味方です。これからも使っていくでしょう。何が言いたいのかわからないので、この辺で「どうも どうも」

訃 報

名誉会員第一号の塩川嘉雄さん(享年86歳)が去る5月7日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

塩川さんは当会発足後間もなく会員になられ、毎回の月例会にも元気に参加されていました。足取り軽く元気に歩かれる姿に、塩川さんが頑張っているのにくたびれてはいられないと、逆に元気を貰った会員もいました。

また、会発足10周年記念行事実施の際には多額のご寄付を賜り、お陰で「ふれあいのこみち」の完成を見る事が出来、多くの市民に利用されております。なお、15周年に際しましても、ご同様の寄付を寄せられるなど、当会発展には多大な貢献をなされました。誠にありがとうございました。

富士宮歩こう会では、この塩川嘉雄さんのご遺志をいつまでも大切にしていまいる事をお誓い申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

事務所の休業日

6月3日(日)・6日(水)・13日(水)・17日(日)

20日(水)・27日(水)

◆いつでも気軽に立ち寄って下さい。お待ちしております◆